



市民ネットワーク議会通信

編集・発行
市民ネットワーク

〒261-0004 千葉市美浜区
高洲3-20-45 403号
Tel&Fax 043-379-4958
http://shimin-network.jp/



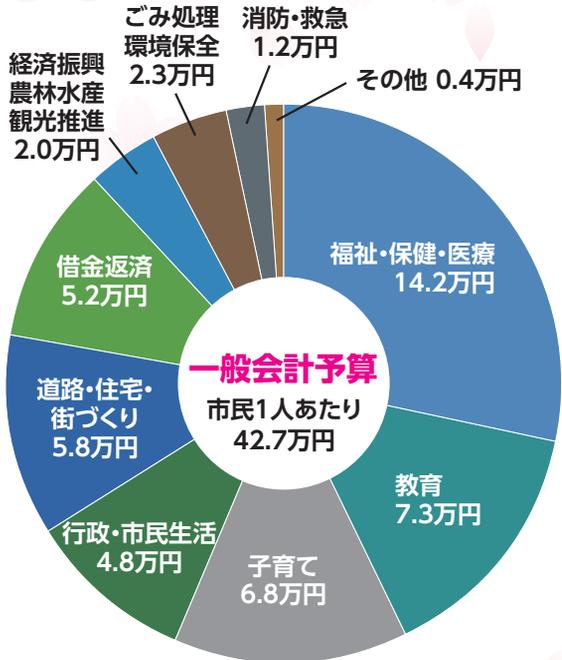
令和4年 千葉市議会第1回定例会 2月18日～3月17日

市民の暮らしに寄り添った事業が充実 2022年度予算

2022年度は、神谷市長就任後初の本格予算編成でした。新庁舎や北谷津清掃工場の整備など、大型事業の支出が重なる中でも、新型コロナウイルス感染症対策や、不登校・児童虐待など厳しい状況下にある子ども達の支援策、公園のリニューアル事業、通学路の安全確保などの事業に予算が配分されたことを評価し、予算案に賛成しました。



山田京子 (若葉区) 松井かよ子 (美浜区) 岩崎明子 (若葉区)



詳しい予算の内容は
こちらから→



市民ネットワークからは引き続き財政健全化へ取り組むこと、感染症の動向に臨機応変に対応しながら、誰一人として市民を置き去りにしない市政運営を要望しました。

予算規模は、一般会計で4,884億円（前年度比4.7%増）。特別会計（病院・水道等）を合わせ9,295億5,300万円です。

コロナ対応として自宅療養者支援に加え、中小企業者事業継続支援など地域経済の活性化に取り組むこと、また地域包括ケアシステム強化や多様な学びの場の確保、脱炭素社会に向けた費用助成等、持続可能なまちづくりに向けた事業が拡充されます。

市民ネットワークが 評価した事業

- ▶ 多文化共生アクションプランの策定
- ▶ 分散避難の推進 と要支援者の個別避難計画策定
- ▶ LINE を使った「あなたが使える制度お知らせサービス」
- ▶ おくやみコーナー(死亡時の手続きワンストップ化)の全市展開
- ▶ 児童相談所の2所体制整備と「子ども家庭総合支援拠点」の設置
- ▶ 高齢者等階段昇降支援(階段昇降機を活用する事業者へ経費助成)
- ▶ 農政センター機能の充実(有機圃場整備と技術指導)
- ▶ 公立夜間中学校 開設(令和5年4月)
- ▶ 学校での性暴力発生時の危機対応、生命の安全教育推進

新年度予算のポイントと 市民ネットワークの意見・要望

予算審査特別委員会分科会で市民ネットワークの議員が発言しました

総務分科会

市職員採用 障がい者は45歳まで応募可能に

障がい者を対象とした市職員の採用選考について、応募可能年齢が35歳以下から、新年度の選考より45歳以下となります。市民ネットワークでは、幅広い年齢層が希望を持って応募できるよう、要望を続けてきました。引き続き、年齢制限が撤廃されるよう求めていきます。

マリスタジアムのあり方検討始まる

1990(平成2)年3月に整備されたマリスタジアムも30年が経過しました。今後、改修して使い続けるのか、建て替えが望ましいのか比較検討するための基礎調査を実施します(予算3000万円)。

幕張新都心の中でスタジアムの果たす役割は大きいことから、その位置づけやまちづくりの方向性について、市民が参画できる体制の構築を求めました。



(松井かよ子)

教育未来分科会

給食休止中の保護者負担 解消へ

市内小学校で給食室を改修する場合、数ヶ月間、弁当持参や仕出し弁当注文などで対応せざるをえず、保護者にとっては経済的、時間的負担となっていました。

今後も改修は続くため、根本的な対策を教育委員会に質すと、学校給食センターから運ぶ方法を検討するとのこと。実現までは、仕出し弁当の注文等に人を配置し保護者負担をなくすことが示されました。

困窮家庭の増加など社会の変化を感じとり、困っている人に手をさしのべる行政になってほしいと思います。



ようやくスタート ヤングケアラー対策

今年1月下旬から市は児童生徒対象にヤングケアラーの実態調査を行い、新年度は子どもやケアを必要とする人に関わる機会の多い職種を対象に研修を行います。

地域の方の気づきも大切であることから、市民への周知と受け皿作りを進めるよう求めました。

(山田京子)

保健消防分科会

コロナ禍でも検診を控えないで

令和2年度は、がん検診等の受診者数が前年度に比べて約29,000人も少なく、コロナ禍での受診控えが深刻です。病気の重篤化を防ぐためには検診が大切なことを、今まで以上に周知するよう要望しました。

夜間・休日の心のケア相談

コロナ禍で仕事や生活への不安を感じる人が増えたことから、LINEと電話による相談事業のニーズはかなり高まっています。必要な人が確実にアクセスできる工夫を求めました。



↑ LINE 相談
友だち追加は
こちらから

地域に開かれた新病院に

老朽化した海浜病院が、2025年度に幕張総合高校の東側に建替えられます。新病院は医療エリア以外に講堂や防災ひろば、カフェ、図書コーナーが設置される予定です。これらを活用し、地域に開かれ市民に親しまれる病院をめざすよう求めました。

(岩崎明子)

山田京子の一般質問

急ぐな! 子宮頸がんワクチン接種

2013年から始まった子宮頸がん(HPV)ワクチンの定期接種は、呼吸困難、不随意運動、歩行困難、ハンマーで殴られるような頭痛、広範囲の痛み、記憶障害、学習障害、光過敏など、重篤な副反応が多数出たために積極的勧奨を一時差し控えていましたが、昨年11月厚生労働省は再開を自治体に通知しました。

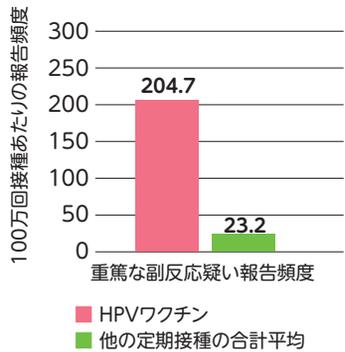
しかし、ワクチンの改良や治療法が確立したわけではありません。このまま再開したのでは、前途ある若い女性に同じような悲劇がきつと起こります。現在も重篤な副反応に苦しむ人が中心となり、全国で裁判も起こっています。

また、救済制度があるといっても、医薬品全体に比べ支給率は半分程度。これでは安心してワクチンを受けられる状況ではありません。

さらに、罹患を防ぐには、定期的な検診と、性教育の充実が不可欠です。

ワクチンの有効性だけでなく、事実に基づくリスク情報を対象者に伝えること、症状の重い方への丁寧な支援、接種の長期追跡調査、被害者への無理解、差別、偏見の解消を強く求めました。

HPVワクチンの重篤な副反応疑い報告頻度は他のワクチンの約9倍



第75回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会の資料に基づきHPVワクチン薬害訴訟全国弁護団作成

「香害」を知ってほしい!!!

香りによる健康被害を防ぐため、昨年、健康推進課のホームページから「柔軟仕上げ剤の香りに配慮しましょう」というポスターがダウンロードできるようになりましたが、市でポスターの掲示が確認できているのは各区保健福祉センターのみです。



最近でも「宅配業者の衣類や品物についている香料に困っている」という声が寄せられています。また、学校給食の白衣についての香料で苦しむ人もいとよく聞きます。

現在、市内の学校の8割で掲示されている「その香り困っている人がいるかも」ポスターを10割にすること、今後も「香害」の認識を社会全体に広めるため、公共施設へのポスター掲示を積極的に進めるよう求めました。

松井かよ子の一般質問

公園での「地域猫」活動に支援を

かつて美浜区の公園には多くの猫が住みつき、えさの食べ残し、ふん尿による衛生面での問題があり、苦情が寄せられていました。そこで2008年度、市ではボランティア団体との協働により、不妊・去勢手術の実施やえさやりのルール化など「地域猫」活動を開始しました。結果、当時約150匹いた猫が、現在では約30匹まで減少するなど改善が図られたそうです。

長年にわたる地域猫活動の取り組みを知らせることで、猫の問題で困っている地区が解決に向けて動くことができるよう、ボランティア団体を支援し、市との協働体制をすすめるよう求めました。

住民参加型地方債でまちづくりを

市では、身近な公園や学校の整備などを対象とした住民参加型市場公募債「ちば市民債」を2015年度まで発行してきました。しかし、市場金利の低下や、資金調達が多様化が進んできたことなどから、現在は発行休止中です。

北九州市では、今年度、自治体初の「SDGs(持続可能な開発目標)未来債」を発行し、個人や団体が1万円単位で購入できるしくみをつくりました。防災対策など、発行目的が明確化されています。SDGs債は市の施策に投資したい、参画したいと考える投資家や市民の1つの選択肢となることから、導入について前向きな検討を求めました。

「門松カード」をご存じですか

お正月に玄関や門に貼るカード(写真下)です。回覧板などでまわってきて、2枚ずつ受け取ります。費用は2枚1組で14円です。カードの下に「千葉市」「千葉市森林組合」と書かれていますが、発行主体は下段の千葉市森林組合で、上段の市は後援とのこと。

門松カードは、伝統文化を継承し、木を保護し、ゴミを減らし、家計の負担を減らすこともできます。自治会には加入していないけれど欲しいという家庭もあります。他の自治体にならってホームページでダウンロードできるようにしてはどうかと質問したところ、森林組合において実施に向けた検討を行っているとの答弁が得られました。



旧千葉市文化交流プラザの行方は? 和解議案が「継続審査」に

JR千葉駅近くの「旧千葉市文化交流プラザ」は、今年の3月31日迄に開館し、音楽ホールを10年間維持する条件(用途指定の特約)で大和ハウス工業に売却しましたが、コロナ禍でテナント協議が難航し開館のめどが立たなくなりました。駅前の建物を長期間放置できないため、違約金等を受け取り、用途指定の特約を解除する「和解」議案が提出されましたが、「再開を待っていた利用団体への説明が不十分」等の理由で議案は継続審査となりました。理解を得るため市から説明がおこなわれる予定ですが、行方を注視していきます。

公文書や情報公開、個人情報保護について専門的知識を有する委員が、2年後の施行を目指し条例の内容を検討します。市民にわかりやすい形での文書管理ができるよう、委員会での活発な議論を求めました。

今回、千葉市の公文書をより適切に管理するための「公文書管理条例」の制定に向け、検討委員会が設置されます。公文書は市民共有の知的財産ですが、「桜を見る会」の出席者名簿を内閣府が「1年未満文書」として廃棄していたことが問題視されたのは記憶に新しいところ。今、公文書管理の重要性が再認識されています。



千葉市公文書管理条例 検討委員会を新設

市民の財産「公文書」は 管理を適正に!

議員とお話しませんか 市民と議員の意見交換会



前回の意見交換会では本会議場の見学も行き、椅子の座り心地を確かめるなど、参加者に好評でした。

日時：4月20日(水)10時半～12時
場所：千葉市議会棟1階応接室
お申し込みは
市民ネットワーク043-379-4958
chiba@chibanet.jp まで